

平成23年第2回定例会
予算決算常任委員会 政策総務分科会説明資料
目次

◎議案補充説明

1 議案第7号

平成23年度三重県一般会計補正予算（第4号）【政策部関係】について・・・1

◎所管事項

1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」

に基づく報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

平成23年6月17日
政策部

1 議案第7号 平成23年度一般会計補正予算(第4号)【政策部関係】について

平成23年度 6月補正予算主要項目一覧表

(単位:千円)

款 項 目	事 業 目	補正前の額	補正額	計	補 正 の 概 要
一般会計 (第2款)		14,993,933	165,311	15,159,244	
総務費 (第2項)		12,897,291	165,311	13,062,602	
企画費 (第1目)		5,101,755	123,105	5,224,860	
企画調整費		4,715,821	123,105	4,838,926	
	給与費				
	特別職人件費	61,825	△ 7,595	54,230	特別職の給与費削減による減
	給与費				
	人件費	3,150,822	△ 17,925	3,132,897	管理職の給与費削減による減
	総合計画推進費				
	総合計画進行管理事業費	4,256	49,589	53,845	有識者会議の開催や冊子の印刷など、新しい県政ビジョンの策定に要する経費の増
	新エネルギー導入推進事業費				
	新エネルギー普及促進事業費	11,497	64,000	75,497	災害時の電力系統の復旧までの情報収集、情報伝達に必要な電源の確保を図るため避難所となる施設に太陽光発電と蓄電システムを設置する市町に対し支援等を行うための増
	木曾岬干拓地整備事業費				
	木曾岬干拓地整備事業費	861,308	33,612	894,920	木曾岬干拓地内の「わんぱく原っぱ」整備のための測量及び設計等による増
(第3項)					
統計調査費		459,599	△ 1,034	458,565	
(第1目)					
統計調査総務費		278,491	△ 1,034	277,457	
	統計関係総務費				
	人件費	264,539	△ 1,034	263,505	管理職の給与費削減による減
(第6項)					
地域振興費		6,555,510	43,240	6,598,750	
(第1目)					
地域振興費		974,868	43,240	1,018,108	
	「 ^{うま} 美し国おこし・三重」推進事業費				
	「 ^{うま} 美し国おこし・三重」推進事業費	187,534	43,240	230,774	「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」の新たなテーマ「地域の誇り・地域の夢」の事業推進及び平成26年度に計画している集大成イベントに向けた実施計画策定調査等のための増

「木曾岬干拓地整備事業費」の「わんぱく原っぱ」整備にかかる補充説明資料

1 現 状

木曾岬干拓地では、当面の土地利用計画に基づき、伊勢湾岸自動車道以北の「わんぱく原っぱ」について、防災上の観点から公共工事等の建設発生土による盛土工事（ $-0.5\text{m} \rightarrow +4.5\text{m}$ ）を平成18年度から実施し、平成24年度末に終了する見込みです。

その後、平成25年度に測量・設計を実施し、平成26年度に工事を施工し、平成27年度から供用開始する予定であり、東海農政局との契約で定められた5年間供用した後、平成32年度から都市的土地利用へ移行が可能となっています。

このため、地質調査や土地利用方策に係る調査等を行い、都市的土地利用について検討を進めてきたところです。

2 課 題

都市的土地利用を図ることで地域への企業の集積・雇用の創出・税収確保が期待されますが、都市的土地利用への移行は、早くても平成32年度であるため、地域経済の活性化や産業振興を図るためにも都市的土地利用を早期に実現する必要があります。

また、「わんぱく原っぱ」は、将来の都市的土地利用への移行までの当面の土地利用であるため、できる限り事業費の縮減を図る必要があります。

3 これまでの検討

これらの課題を踏まえて、「わんぱく原っぱ」の早期供用に向けて、平成24年度末の盛土工事完了後速やかに供用を図るための手法について、愛知県、東海農政局、木曾岬町等関係機関と協議を進めてきました。また、事業費の縮減を図るという観点から整備内容についても検討を進めてきました。

4 今後の対応

「わんぱく原っぱ」を「広場ゾーン（3ha）」と「景観原っぱゾーン（34ha）」とし、盛土工事と並行して整備を行うことにより、供用開始を2年間前倒して、平成25年度予定とするとともに事業費の縮減を図ります。

このため、平成23年度6月補正予算に「わんぱく原っぱ」の整備に関する経費を計上しています。

○6月補正予算額 33,612千円のうち18,612千円（測量・設計費）

わんぱく原っぱ土地利用計画

1 現状

当面の土地利用(東海農政局との売買契約)
 工事完了期日 平成27年3月31日
 供用期間 平成27年度～平成31年度

平成18年度から 盛土工事を施工
 防災上の観点(-0.5m→+4.5m)
 平成24年度末 盛土工事終了予定
 平成25年度 測量・設計
 平成26年度 工事施工

2 当面の土地利用からの移行

当面の土地利用後、都市的土地利用に移行を図る

期待

企業集積

雇用創出

税収確保

これまでの都市的土地利用
 にかかる基礎調査

土地利用方策

コスト調査

地質調査

堤防安全調査

3 課題

都市的土地利用
 への移行
 (平成32年度以降)

・都市的土地利用
 の早期実現

わんぱく原っぱ
 〓
 当面の土地利用

・整備事業費の
 縮減

地域
 経済
 の
 活
 性
 化

4 これまでの検討

・早期供用を図るための手法につい
 て、関係機関協議
 ・わんぱく原っぱ整備内容の再検討

5 整備内容

広場ゾーン(3ha)
 景観原っぱゾーン(34ha)

・整備事業費の縮減
 ・供用開始の前倒し

スケ
 ジュ
 ール

	18～	22	23	24	25	～29
盛土	→					
測量・設計		↔				
工事			↔			
供用					↔	

【全体】

《内容》

<測量、設計>

測量及び設計委託

<工事>

外周フェンス、トイレ工、水道工、
 道路工、不陸整正工、法面保護工等

<維持管理>

除草、トイレ清掃、門扉開閉等

【6月補正】

《内容》

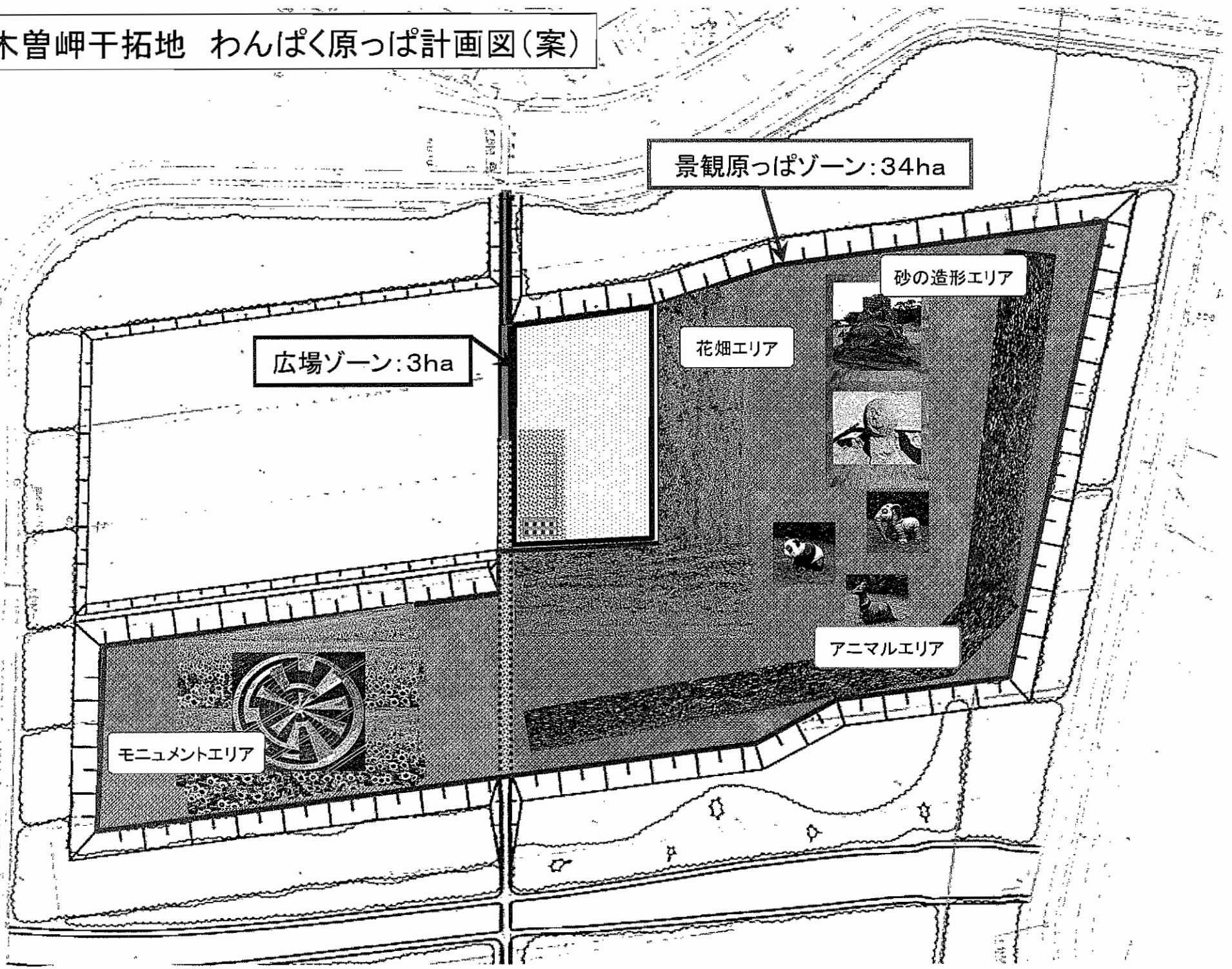
<測量・設計>

・わんぱく原っぱ測量委託

・わんぱく原っぱ設計委託

・トイレ設計委託

木曾岬干拓地 わんぱく原っぱ計画図(案)



第2-2号様式(条例第6条第1項関係)

交付決定実績調書(5億円以上)

(部局名: 政策部) (単位: 千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者の氏名及び住所	交付決定額	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	実現しようとする政策、施策及び目標	補助金等の交付以外の方法の可能性	室(課)名	備考
2-1 (1-7)	四日市港管理組合県負担金 (平成23年度)	四日市港管理組合 四日市市霞2丁目 1-1	2,096,496	港湾法の規定による港湾管理者の業務	三重県は四日市港管理組合の組織団体として必要な経費を負担する。 四日市港管理組合同規約第17条(経費支弁の方法)	(政策)交流・連携を広げ社会を支える基盤の整備 (施策)港湾の整備 (目標)入港船舶総トン数:8,300万トン	四日市港管理組合同規約で「組織団体が負担する」と定められているため、負担金以外の方法では交付が困難である。	交通政策室	平成23年 4月1日決定